日本フィル
&
サントリー
ホール

とっておき アフタヌ〜ン

2020〜21
シーズン
Vol.15

2021.2.3（水）

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA & SUNTORY HALL

MATINEE CONCERT SERIES ON WEEKDAYS
"Totteoki Afternoon" Vol. 15

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
創立指揮者　渡邊 曉雄

SUNTORY HALL

日本フィル&サントリーホール

とっておき アフタヌーン Vol. 15

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA & SUNTORY HALL
MATINEE CONCERT SERIES ON WEEKDAYS
"Totteoki Afternoon" Vol. 15

2021年2月3日（水）14:00開演
サントリーホール 大ホール

Wednesday, February 3, 2021 at 14:00
Suntory Hall, Main Hall

指揮：**横山 奏**
Kanade Yokoyama, Conductor

ピアノ：**角野隼斗**
Hayato Sumino, Piano

ナビゲーター：**高橋克典**
Katsunori Takahashi, Navigator

日本フィルハーモニー交響楽団
Japan Philharmonic Orchestra

コンサートマスター：**木野雅之**［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Masayuki Kino, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：**菊地知也**［日本フィル・ソロ・チェロ］
Tomoya Kikuchi, JPO Solo Violoncello

［主　催］
日本フィルハーモニー交響楽団／サントリーホール

［協　力］
The Okura Tokyo／ANAインターコンチネンタルホテル東京

◆マスクを着用されていない方のご入場はお断りしております。ご鑑賞中も含め、館内では常時マスクをご着用ください。◆館内でのお客様同士の会話、演奏に対するブラボーなどの掛け声はお控えください。◆こまめな手洗い、手指消毒、「咳エチケット」の励行をお願いいたします。◆出演者へ花束、プレゼントなどを直接お渡しすることや、楽屋入待ち、出待ちなどはお断りしております。◆時差退場へのご協力をお願いいたします。◆「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA ココア）」のインストールにご協力ください。

スメタナ：**連作交響詩『我が祖国』より 第2曲「ヴルタヴァ（モルダウ）」**
Bedřich Smetana: No. 2 "Vltava (Moldau)" from *Má vlast*

ガーシュウィン：**『ラプソディー・イン・ブルー』**
George Gershwin: *Rhapsody in Blue*

角野隼斗（星出尚志 編曲）：**『ティンカーランド』（とっておき アフタヌーン特別版）**
Hayato Sumino (arr. Takashi Hoshide): *Tinkerland* (Special Version for "Totteoki Afternoon")

ピアノ：**角野隼斗**
Hayato Sumino, Piano

―― 休 憩 ――
intermission

ムソルグスキー（ラヴェル 編曲）：**組曲『展覧会の絵』**
Modest Petrovich Musorgsky (arr. Maurice Ravel): *Pictures at an Exhibition* Suite

Promenade（プロムナード）
I. Gnomus（グノーム）
Promenade（プロムナード）
II. The Old Castle（古い城）
Promenade（プロムナード）
III. Tuileries（チュイルリーの庭）
IV. Bydlo（ビドロ）
Promenade（プロムナード）
V. Ballet of the Chicks in their Shells（卵の殻をつけたひなの踊り）
VI. Samuel Goldenberg and Schmuyle（サムエル・ゴールデンベルクとシュムイレ）
VII. The Market Place in Limoges（リモージュの市場）
VIII. Catacombs（カタコンベ）
With the Dead in a Dead Language（死者の言葉による死者との対話）
IX. The Hut on Fowl's Legs (Baba Yaga's Hut)（バーバヤガーの小屋（めんどりの足の上に立つ小屋））
X. The Great Gate of Kiev（キエフの大きな門）

©平舘平

指揮：横山 奏
Kanade Yokoyama, Conductor

2018年第18回東京国際音楽コンクール〈指揮〉にて第2位および聴衆賞を受賞。一躍注目を集め、今後の活躍が大いに期待される若手指揮者である。
札幌市出身。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。17年WMC Kerkrade指揮者コンクールにおいて、第3位を受賞。15年4月より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員として、同楽団定期演奏会やオペラ公演でのアシスタントを数多く務め、高関健、飯守泰次郎をはじめとする指揮者・楽団員から厚い信頼を得た。これまでに都響、読響、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京シティ・フィル、東京佼成ウインドオーケストラ、札響、仙台フィル、山響、千葉響、名古屋フィル、大阪フィル、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響などと共演を重ねている。
これまでに指揮をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣に師事。

ピアノ：角野隼斗
Hayato Sumino, Piano

1995年生まれ。2018年、ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、および文部科学大臣賞、スタインウェイ賞を受賞。19年リヨン国際ピアノコンクール第3位、その他受賞多数。これまでにブラショフ・フィル、日本フィル、千葉響などと共演。18年9月より半年間、フランス国立音響音楽研究所（IRCAM）にて音楽情報処理の研究に従事。留学中にクレール・テゼール、ジャン＝マルク・ルイサダに師事。パリ、ウィーン、ポーランドにてリサイタル出演。19年『島本須美 sings ジブリ リニューアルピアノバージョン』で全曲ピアノ演奏・編曲を担当。20年12月、1stフルアルバム『HAYATOSM』をリリース。幅広いピアニズムが話題となっている。
東京大学大学院を卒業し、現在は国内外でコンサートを行う傍ら、“Cateen（かてぃん）”名義で自ら作編曲および演奏した動画をYouTubeにて配信し、チャンネル登録者数は60万人、総再生回数は6,000万回を突破（21年1月現在）。

ナビゲーター：高橋克典
Katsunori Takahashi, Navigator

神奈川県横浜市生まれ。1993年『抱きしめたい』で歌手デビュー。その後、俳優としても活躍。代表作に主演ドラマ「サラリーマン金太郎」「特命係長 只野仁」「庶務行員 多加賀主水」など。他の作品でも多彩な演技でストーリーを支え、幅広いファン層に支持されている。2020年大河ドラマ「麒麟がくる」に織田信秀役として出演。両親は共に音楽家で、小学生の頃はピアノとトランペットに親しんだ。17年4月よりEテレ「ららら♪クラシック」のMCを務めている。

©堀田力丸

日本フィルハーモニー交響楽団
Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立、楽団創設の中心となった渡邉曉雄が初代常任指揮者を務める。創立60年の歴史と伝統を守りつつ、“音楽を通して文化を発信”という信条に基づき、「オーケストラ・コンサート」、「エデュケーション・プログラム」、「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行っている。現在、首席指揮者にピエタリ・インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹という充実した指揮者陣を中心に演奏会を行っている。2011年4月より、ボランティア活動「被災地に音楽を」を開始。21年1月末までに300公演を数え、現在も継続している。BS朝日 毎週水曜夜10:54「Welcomeクラシック」出演中。
オフィシャル・サイト　https://www.japanphil.or.jp/

スメタナ：連作交響詩『我が祖国』より 第2曲「ヴルタヴァ（モルダウ）」

チェコ国民主義音楽の祖ベドジフ・スメタナ（1824～84）の連作交響詩『わが祖国』は、チェコの歴史的名跡や国民的伝説などに由来した題名を持つ6つの管弦楽曲から成っています。その中でも特に有名なものが、プラハを流れる雄大な河モルダウを描いたこの作品です。チェコ語で“ヴルタヴァ”と呼ばれるこの河は、ボヘミアの悠久の歴史をその流れとともに見つめ続けてきた証人でもあります。「ふたつの水源に発するこの河は、次第に幅を拡げてゆく。両岸には狩の角笛や村人たちの婚礼の踊りが聴こえる。月の光と妖精の踊り。流れはやがて聖ヨハネの急流にさしかかり波が荒々しくなる。ここから河はプラハに入り、古い伝統を持つ高貴な街の古城ヴィシェフラドに敬意を表してゆく」（スメタナ自身による標題の要約）という内容が、管弦楽により忠実に描写されています。

ガーシュウィン：『ラプソディー・イン・ブルー』

ジョージ・ガーシュウィン（1898～1937）はロシア系ユダヤ人としてブルックリンに生まれ育った20世紀前半のアメリカを代表する作曲家です。独学でピアノと和声法を学び、軽演劇場やポピュラー歌手たちの伴奏ピアニストとして経験を重ね、実践的に自己の創作様式を確立していきました。そうした活動の中で、ジャズ楽団指揮者のポール・ホワイトマンと知り合い、“近代音楽の実験”と称する演奏会のための新作の作曲依頼を受け、1924年に誕生したのが『ラプソディー・イン・ブルー』です。

この作品はジャズ、とりわけブルースの語法を巧みに利用した協奏的スタイルを持つ管弦楽曲で、シンフォニック・ジャズの先駆けとなり、のちのアメリカ音楽に大きな影響を与えました。この曲によって一躍シリアス・ミュージックの分野に躍り出たガーシュウィンでしたが、同時に管弦楽法の知識不足やコンサートホール向きの音楽に必要な構成力の欠如を痛感していました。一念奮起したガーシュウィンは短期間で理論をマスターし、その努力は翌1925年の『ピアノ協奏曲　ヘ調』、そして1928年のパリ旅行の印象を描いた管弦楽曲『パリのアメリカ人』などの傑作に結実を見せることとなったのです。

角野隼斗（星出尚志 編曲）：『ティンカーランド』（とっておき アフタヌーン特別版）

トイピアノと鍵盤ハーモニカとグランドピアノ、3つの楽器を使った曲を作ってみたいという思いから生まれた曲です。これらは子供の楽器と思われがちですが、実は演奏してみるととても奥が深く、いろんな可能性を秘めているのです。その可能性を追求するべく、自分のYouTubeチャンネルでもトイピアノや鍵盤ハーモニカを用いた演奏動画を公開してきました。子供の楽器を大人が全力で追求するという姿勢は一見滑稽にも見えますが、子供心を忘れずにいつまでも純粋な気持ちで音を楽しんでいたいという気持ちがそこには表れています。16分音符で駆け回るようなフレーズから始まり、途中ブルースやワルツの表情が出てきたり、急にテンポチェンジしたり、ユーモアに溢れた1曲です。今回は初のオーケストラ伴奏という特別版でお送りします。

文・角野隼斗

ムソルグスキー（ラヴェル 編曲）：組曲『展覧会の絵』

“ロシア5人組”のひとり、モデスト・ムソルグスキー（1839～81）が残した作品の中で特に有名な組曲『展覧会の絵』は、こんにちでは原曲のピアノ版よりも、むしろオーケストラ編曲版で広く知られています。この編曲版は、1922年にモーリス・ラヴェル（1875～1937）がボストン交響楽団の指揮者、セルゲイ・クーセヴィツキーからの依頼を受けて完成したものです。

この曲は、友人の建築士ヴィクトル・ハルトマンを追悼する遺作絵画展（1874年）の印象に基づいて作曲されました。その中でも特に感銘深かった10点の絵画（油彩や水彩、衣裳デザイン、建築設計イメージ画など）を選んで組曲の標題とし、それらを一連の組曲として統一するために、“プロムナード（そぞろ歩き）”と呼ばれる移行部分も作曲。一点一点の絵画の前を通り過ぎるムソルグスキーの心象の移り変わりを音楽的に表現しています。

第1曲の「グノーム」とは、地下の宝を守るこびと。第3曲の「チュイルリーの庭」はパリの庭園でけんかをする子供たちを描いており、第4曲の「ビドロ」は牛車を意味します。第6曲は裕福なユダヤ人と貧乏なユダヤ人を描き、第8曲の「カタコンベ」とは古代の地下墓地を指します。第9曲は鶏の2本足の上に立つ、ロシア民話の魔女バーバヤガーの小屋を描いています。

◆アーカイブ視聴券のお知らせ◆　本日のコンサートの模様は、有料アーカイブ配信でご覧いただけます。

アーカイブ視聴券　¥2,200　ガンバレ日本フィル視聴券（支援金付）　¥5,000

アーカイブ視聴期間　2月5日（金）14:00～11日（木・祝）23:00 ※2月10日（水）23:00まで販売（クレジット決済のみ）

◆ 次シーズンのお知らせ ◆

日本フィル＆サントリーホール
とっておき アフタヌーン
2021～22シーズン

各日とも14:00開演

Vol.16　2021.6.7 月　指揮：川瀬賢太郎　ヴァイオリン：岡本誠司　ナビゲーター：高橋克典

Vol.17　2021.9.27 月　指揮・お話：田中祐子　ピアノ：福間洸太朗 ほか

Vol.18　2022.2.2 水　指揮：沖澤のどか　チェロ：佐藤晴真　ナビゲーター：高橋克典

お得な3公演セット券2月10日（水）より
先行発売開始！　詳しくはHPをご覧ください ▶

本日ご来場の方は、特別に先行予約を承ります。
日本フィル・サービスセンター　TEL.03-5378-5911（平日11～15時）
※2月10日（水）発売初日は10時より受付、本日の座席番号をお伺いします。
◎サントリーホール・メンバーズ・クラブのお客様は、
サントリーホールチケットセンター（WEB・電話）でご購入ください。

川瀬賢太郎©Yoshinori Kurosawa／岡本誠司©S. Ohsugi／田中祐子©sajihideyasu／福間洸太朗©Marc Bouhiron／佐藤晴真©ヒダキ トモコ

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

創立指揮者　渡邊 曉雄

SUNTORY HALL